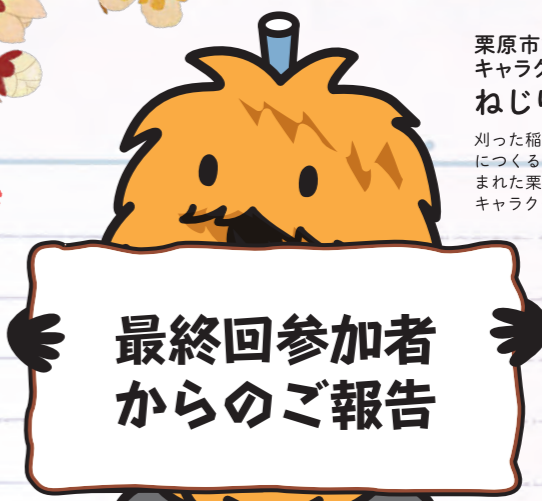


栗原市合併10周年記念 プロジェクト参加者レポート

栗原の冬を体感!



今回プロジェクト一行が向かったのは
栗原市 若柳・志波姫地区

登米市に隣接する東部エリアには東北新幹線・くりこま高原駅があり、直径10mの巨大な水車が迎えてくれます。

2/21(日)

～伝えたい栗原がありました～



栗原の冬の暮らしを体験

栗原ならではの冬を体験! 昔ながらの「干し大根」「よしず」「畳」づくりに挑戦!

栗原では、昔から農業の閑散期である冬場にさまざまな手仕事を行ってきました。今回は「冬の手仕事」体験に、65名の参加者が志波姫地区へ。干し大根、ミニよしず、ミニ畳を作ったほか、もちつきにもトライし、つきたてのおもち「ハレの食」として、お昼にいただきました。ツアーの企画・運営に携った尚綱学院大学の学生と一緒に、冬の栗原を満喫しました!

冬の寒さで甘さと栄養価アップ「干し大根」づくり!

秋から冬にかけて収穫した大根を大切に食べさせるため、昔から保存食として作られてきたのが干し大根。この体験の先生は、地元の農家のお母さんたちです。あらかじめ切っておいた大根を稲わらで編むのですが、慣れない作業に大人も子どもも悪戦苦闘! どうやら、コツがあるようです。「干し大根は大好きでよく食べるけど、自分で作るのは初めて」という参加者がほとんどでしたが、お母さんたちの丁寧な指導で、無事完成。雨の当たらない場所に1カ月ほど干せば食べられるようになります。

「干し大根」の作り方

大根は拍子切りに。わらはは、少し湿らせてから叩いて柔らかくしておきます。同じくわらの根元を止め結びにしたら、大根を挟むように編んでいきます。きつめに締めていくのがポイント。

三塚悦子さん 高橋恵美子さん

伊豆沼の「よし」を使って「ミニよしず」づくり!

よしずは、日光を遮って風を通すので、夏の風物詩としておなじみです。栗原では、昔から閑散期に自生する葦(よし)を使ってよしずを作ってきたそう。今回はそんな伝統の技をミニサイズのよしずで体験します。講師は、一迫林業研究会の高橋さんです。材料には、葦だけでなく、篠竹と藁(わら)も用意してくれました。専用の編み台を前に、みんな作業に没頭しました。完成したミニよしずは、お部屋のアクセントとしてインテリアに。ポストカードや写真を飾ってもカワイイね!

「ミニよしず」の作り方

編み台に麻ひもを2本セットします。続いて編み台の溝の部分に葦を置き、その上で麻ひもを交差。その作業を繰り返します。編み目にゆるみがないよう、丁寧に編むのがキレイな仕上がりの秘訣。

一迫林業研究会/高橋勇記さん

昔ながらの暮らしに触れる「ミニ畳」づくり!

江戸時代から180年にもわたって畳を作り続けてきた只見工業所のみさんが講師となって、ミニ畳づくりも行いました。用意していただいた量縁はなんと90種類。畳表の部分もい草、和紙、プラスチックがあり、みんな「どれにしよう?」と、悩みながら組み合わせを選んでいきます。ボードに畳表を巻き付け、タッカーと呼ばれるホチキスでパチン!と止めます。小さな子ども先生たちが見守る中、夢中になっていました。できあがったミニ畳は、人形の飾り台やマウスパッドとして活用できます。

「ミニ畳」の作り方

畳表でボードを包み、両端を止める。表面に畳縁を裏返しにして置き、その上に縁きと呼ばれる芯をセット。タッカーで止めたら、畳の端を包むようにクルリ返す。余分な縁を処理すれば完成!

只見工業所/只見直美さん

栗原の郷土料理「ハレの食」おもちに舌鼓!

栗原の昔ながらのおもてなし料理は、おもち。なかでも「あんこもち」と紅白の「えびもち」は、おめでたい席では欠かせないメニュー。今回は、あぐりっこ金成と会席料理丸勝のみさんによる、干し大根の酢の物など季節ならではの保存食を使ったメニューや、みんなで作ったおもちを使ったお雑煮に舌鼓を打ちました。

尚綱大学のサニウムFFRFが栗原産のれんこんを使ったスイーツを作ってくれたよ!

栗原特産のれんこん掘りを見学!

寒さゆえに糖度が高く、甘〜い伊豆沼産のれんこん。れんこん農家の佐藤優さんが風が吹きさらすれんこん畑で、膝までぬかるみに入りながら収穫の様子を説明し、参加者のみなさんも「感謝して食べなきゃ!」と話していました。

一年を通して感じた栗原の魅力!

栗原は、食がとっても豊か! おもちも野菜も本当においしいので、ひとりでも多くの方に味わっていただきたいです。ツアーに関わって、栗原への愛情がアップしました!

これまで、栗原に何があるのか知りませんでした。このツアーに関わることで、伊豆沼の野鳥や田園風景など、栗原の自然環境のすばらしさを感じることができました。



尚綱学院大学2年/阿部香圭さん

尚綱学院大学3年/泉田佑弥さん

栗原のみなさんからメッセージ

栗原市長よりごあいさつ
本当に多くの方にこのツアーにご参加いただき、ありがとうございます。昨年、栗駒山麓ジオパークが「日本ジオパーク」に認定されましたので、これまでとは違った栗原の楽しみ方も情報発信していきたいと思っております。

栗原は、水がおいしい。そして、農家のみなさんが丹精込めて作ったお米、お野菜が、とってもおいしいです。栗原の食を味わってくださいね!

栗原の花山小学校では、豊かな自然や地域住民によるユニークな授業が行われています。特認校で学区はありませんが、のびのびと育てたい方、ぜひいらしてください。

体験プログラムを通じて、栗原の魅力が伝わったらうれしいです。美しい田園風景の中で育まれてきた人の温かさも自慢ですので、ぜひ会いに来てください!

最終回のバスツアーの様子は「今できることプロジェクト」公式HP内の動画でもご覧いただけます。 [河北 今できること](#) [検索](#) [facebook](#)

主催: 栗原市 河北新報社 協賛: KIRIN JTB 尚綱学院大学 (順不同) 協力: くりはらツーリズムネットワーク

【お問い合わせ】 今できることプロジェクト事務局/河北新報社営業部 TEL.022-211-1318 (平日10時~17時)